

第1回 人文知応援大会

コロナという災厄に 立ち向かう人文知

プログラム

総合司会 草野 満代

13:00 開会

挨拶・趣旨説明 大原 謙一郎
(人文知応援フォーラム共同代表・大原美術館名誉館長)

挨拶 平川 南 (人間文化研究機構長)

13:10-14:05 基調講演

司会 高階 秀爾 (東京大学名誉教授・日本芸術院会員)

「ポピュリズムとコロナ禍の社会の中で」

佐々木 毅 (日本学士院会員)

14:05-14:15 休憩

14:15-15:50 第1部

コロナ危機克服の諸課題を、人文知が読み解く

コーディネーター

榊原 定征 (日本経済団体連合会名誉会長)

意見表明1

「コロナ危機と国際政治

～リベラルデモクラシーは普遍的価値たり得るか～」

五百簾頭 真 (公立大学法人兵庫県立大学理事長)

意見表明2

「科学技術にとって人文知とはなにか」

福岡 伸一 (生物学者・青山学院大学教授・
米国ロックフェラー大学客員研究者)

15:50-16:00 休憩

16:00-17:10 第2部

人間文化研究の現場から

コーディネーター

長谷山 彰 (慶應義塾長)

「人文知でパンデミックに対峙する」

磯田 道史 (人間文化研究機構国際日本文化研究センター准教授)

「自然界と想像界のあわいに漂うもの」

山中 由里子 (人間文化研究機構国立民族学博物館教授)

17:10-17:20 閉会

挨拶 近藤 誠一

(人文知応援大会実行委員長・人文知応援フォーラム共同
代表・元文化庁長官)

「大会宣言」採択

大会趣旨

社会が新型コロナ禍という先の見えぬ大きな危機に直面しているとき、われわれは過去の歴史から学び、その流れの中に現在を位置付けることによって、未来を積極的に創造していくことができます。

その知的作業を導いてくれるのは、AIではなく、先達があらゆる学問や芸術、文学などに蓄積してくれた叢知です。そこから得られる、個々の専門分野を超えた、自然と人間についての総合知が人文知なのです。

それはひとりひとりが努力して探り出し、仲間と対話することによって獲得できるものです。この大会は、各分野を極めた知的リーダーが発する叢知から、参加される方々がさまざまなヒントを得て、人文知の意義と力についての認識を深め、広く社会に共有し、人文知を愛する同志の輪を広めていく場を提供することを目指しています。

人文知応援大会実行委員長 近藤 誠一
(人文知応援フォーラム共同代表・元文化庁長官)

オンライン
配信

要事前
受付

人文知応援フォーラム

大学共同利用機関法人
人間文化研究機構

登壇者 プロフィール

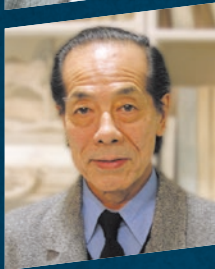
基調講演



日本学士院会員

佐々木 毅

日本学士院会員、学代会理事長、東京大学名誉教授。東京大学卒、法学博士。秋田県出身。専門は政治学・政治学史。東京大学教授、東京大学法学部長、同大学大学院法学政治学研究科長、東京大学総長などを歴任。



司会

人文知応援フォーラム運営委員
東京大学名誉教授
日本芸術院会員

高階 秀爾



美術史家。美術評論家。東京大学大学院、フランス留学を経て東大教授、国立西洋美術館長などを歴任。2002年から（公財）大原美術館館長。（公財）西洋美術振興財団理事長も務める。著書に、『芸術空間の系譜』『ルネッサンスの光と闇』『名画を見る眼（正・続）』『近代美術の巨匠たち』『歴史のなかの女たち』『近代絵画史』『ゴッホの眼』『世界の中の日本絵画』など。芸術選奨文部大臣賞、フランス芸術文芸勲章コマンドール章、紫綬褒章、レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ章、イタリア功労勲章グランデ・ウフィチアーレ章、日本芸術院賞恩賜賞。2012年文化勲章。日本芸術院会員。

第1部



公立大学法人
兵庫県立大学理事長

五百簀頭 眞

公立大学法人兵庫県立大学理事長／公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長神戸大学名誉教授、防衛大学校名誉教授、熊本県立大学特別栄誉教授。

京都大学卒。法学博士。専門は日本政治外交史。神戸大法学部教授、防衛大学校長、公立大学法人熊本県立大学理事長などを経て、平成30年4月、公立大学法人兵庫県立大学理事長に就任。この間、日本政治学会理事長、政府の東日本大震災復興構想会議議長、くまもと復旧・復興有識者会議議長などを歴任。文化功労者。



人文知応援フォーラム運営委員
生物学者
青山学院大学教授
米国ロックフェラー大学
客員研究者

福岡 伸一



米国ハーバード大学医学部博士研究員、京都大学助教授などを経て青山学院大学教授・米国ロックフェラー大学客員教授。サントリー学芸賞を受賞し、80万部を超えるベストセラーとなった『生物と無生物のあいだ』（講談社現代新書）、『動的平衡』（木楽舎）など、“生命とは何か”を動的平衡論から問い直した著作を数多く発表。2015年11月からは、読書のあり方を問い直す「福岡伸一の知恵の学校」をスタートさせ、校長をつとめている。



コーディネーター

人文知応援フォーラム運営委員
一般社団法人
日本経済団体連合会 名誉会長

榊原 定征



1967年東洋レーヨン株式会社（現東レ㈱）入社。2002年6月同社代表取締役社長、2010年6月代表取締役会長、2014年6月取締役会長、2015年6月相談役最高顧問、2017年6月相談役、2018年6月特別顧問、2019年6月社友。2012年6月日本電信電話株式会社取締役。2014年5月日本化学会会長。2014年6月日本経済団体連合会第4代会長、2018年5月同名誉会長。2017年4月財政制度等審議会会長。2018年12月2025年国際博覧会担当大使。2019年12月株式会社産業革新投資機構取締役会議長。2020年6月関西電力株式会社取締役会長。2012年仏レジオン・ドヌール・シュバリエ章、2020年4月旭日大綬章受章。

第2部



人間文化研究機構
国際日本文化研究センター
准教授

磯田 道史

1970年、岡山市生まれ。専門は日本近世・近代史。慶應義塾大学大学院卒。博士(史学)。茨城大学助教授、静岡文化芸術大学教授を経て、現在、国際日本文化研究センター准教授。著書に『武士の家計簿』、『感染症の日本史』など。



人間文化研究機構
国立民族学博物館教授

山中 由里子

東京大学東洋文化研究所助手を経て、1998年より国立民族学博物館。学術博士(比較文学比較文化)。主著に『〈驚異〉の文化史—中東とヨーロッパを中心に』、『アレクサンドロス変相—古代から中世イスラームへ』など。



コーディネーター

人文知応援フォーラム運営委員
慶應義塾長

長谷山 彰



1975年慶應義塾大学法学部卒業。1979年同文学部卒業。1984年同大学院文学研究科博士課程単位取得退学。法学博士。専門は法制史・日本古代史。1997年慶應義塾大学文学部教授。2007年文学部長・附属研究所所長。2009年慶應義塾常任理事。2017年慶應義塾長に就任。現在、日本私立大学連盟会長などを兼務。

総合司会



総合司会

人文知応援フォーラム運営委員
フリーアナウンサー

草野 満代



1989年から1997年までNHKでアナウンサーとして活躍。「NHK モーニングワイド」、「NHK サンデースポーツ・サタデースポーツ」、「紅白歌合戦」などを担当。NHK以外では、TBS「筑紫哲也NEWS23」、TBS「第39回輝く日本レコード大賞」などのキャスター・司会を務めた。現在は、テレビ朝日「ごほんジャパン」、ニッポン放送「健康あるあるワンダフォー」などで活躍している。環境省地球いきもの応援団、総務省年金業務監視委員会、国土交通省社会資本整備審議会委員、公益財団法人日本スポーツ協会副会長なども務める。

主催者



人文知応援フォーラム共同代表
公益財団法人 大原美術館
名誉館長

大原 謙一郎



倉敷レイヨン(現㈱クラレ)に入社。同社副社長、その後㈱中国銀行副頭取歴任。1991年5月より2016年6月まで大原美術館理事長。その後名誉理事長を経て名誉館長。他に岡山経済同友会代表幹事、岡山県教育委員会教育委員、倉敷商工会議所会頭、岡山県文化連盟会長等歴任。また、倉敷芸術科学大学 客員教授として非営利事業経営論を講義。他に(公財)大原記念倉敷中央医療機構理事長、(公財)倉敷民芸館理事長兼館長、(公財)倉敷考古館理事長、(一社)日本アスペン研究所副理事長も務める。



人文知応援フォーラム共同代表
大会実行委員長・元文化庁長官

近藤 誠一



元文化庁長官。パリ OECD(経済協力開発機構)事務次長、駐米国大使館公使、ユネスコ日本政府代表部大使、駐デンマーク特命全権大使等を歴任。退任後、東京大学、慶應義塾大学、東京藝術大学等で教鞭を執った他、一般社団法人TAKUMI Art du Japonの設立等文化・芸術の発展、国際交流に貢献。仏レジオン・ドヌール・シュバリエ章、瑞宝重光章を受章。国際ファッション専門職大学学長も務める。



人間文化研究機構長

平川 南

歴史学者。専門は日本古代史。1970年より宮城県多賀城跡調査研究所に勤務し、日本で初めての漆紙文書を発見・解読。1982年、国立歴史民俗博物館歴史研究部助教授に就任。1989年、教授に昇任。1990年、『漆紙文書の研究』で第12回角川源義賞受賞。文学博士(東京大学)を取得。2006年4月から2014年3月まで国立歴史民俗博物館館長。2005年から山梨県立博物館館長兼務。2018年4月から同名誉館長。2004年4月から2006年3月まで、2014年4月から2018年3月まで人間文化研究機構理事、2018年4月から同機構長。『全集日本の歴史 第2巻 日本の原像』小学館2008年など。最新著書として『新しい古代史へ』全3巻を2019年に刊行。

人文知

応援フォーラム

「人文知」は、文化を愛で、芸術に親しみ、人文学を身につけることを通じ、自ずから人の心の中に生まれてくるしなやかで強靱な「知の力」です。それは、人生をより豊かにし、世界に通用する人材を育てる力の源泉になると同時に、社会の姿を整え、国の立ち位置を固め、ひいては、世界を和やかに保つためにも力を発揮します。さまざまな要素が複雑に絡み合い、社会の根底を支える価値観さえ揺るがされかねない今の世界に生きる日本では、そのような「人文知」を磨くことの意味と意義はこれまでになく高まっています。

そのような状況に鑑み、令和元年10月に人文知応援フォーラムは設立されました。令和3年2月1日現在、11名の各界の有識者が運営委員として参画しています。

本フォーラムは、「人文知」を磨くことの重要性を深く心に刻み、これからの日本で文化、芸術、人文学の研究が一層進展し、文と理を超越した知の総体としての「人文知」が日本の社会の中で広く生かされるよう、多くの同志との連携を通じ、「人文知応援大会」、各種セミナーの開催等を通じて、人文知の普及・発信活動を展開してまいります。

また、令和3年4月には、一般社団法人化を行い、多くの会員を募集いたします。本フォーラムの活動にご賛同いただける方のご参加を、心よりお待ちしております。

お問い合わせ

E-mail: info@jinbunchi.jp

ウェブサイト: <http://jinbunchi.jp>



大学共同利用機関法人

人間文化研究機構



国立歴史
民俗博物館



国立国語
研究所



総合地球
環境学研究所



国文学研究
資料館



国際日本文化
研究センター



国立
民族学博物館

人間文化研究機構は6つの大学共同利用機関によって構成されています。6つの機関の相互連携を深めつつ、国内外の大学等研究機関と組織的連携をし、人間文化研究に関する新たな学問領域の創成、世界をリードできる研究拠点としての組織づくり、大学の支援と共同研究の促進に力を入れています。そして多様な機会や社会との連携を通じて、人文学や人間文化研究の成果の可視化や重要性の発信、社会還元を強力に推進しています。

人文機構の活動情報は、ニュースレター（メール）やNIHU Magazine（Webマガジン）で配信しています。

▼ ニュースレターの登録はこちらから。

www.mag2.com/m/0001674003.html



お問
い合
わせ

人間文化研究機構本部

〒105-0001

東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル2F

電話：03-6402-9200 FAX：03-6402-9240

ウェブサイト：<http://www.nihu.jp/ja>